

Editor の心得

HRL editorial board

2015.5.20 制定

水文・水資源学会は広い学問分野の横断的学会である。本誌は水文・水資源学会の英文誌として、これらの分野の速やかな情報交換・情報発信を目的としている。本学問分野の発展のためには、新しいアイデア(オリジナリティ)と同等に、データの蓄積も必要である。この心得は、本誌の編集方針を徹底するために作成されたものである。

担当副委員長(Editor) :

1. 担当副委員長は、著者と査読者、担当編集委員の一方に偏ることなく、公平な立場にいななければならない。
2. 担当副委員長は、担当編集委員と緊密に連携し、公正・公平な編集を行い、論文の採否を決め、編集委員会に提示する。
3. 正副委員長は担当編集委員と査読者の結論を最大限尊重しなければならない。それを棄却する前に、結論に至るまでの経緯と理由を聞いた上で、棄却の理由を丁寧に説明し、理解を得る。
4. 編集サイド(正副委員長、担当編集委員、査読者)の個人的意見、方法論を著者に押し付けてはならない。
5. 論文採用の判断にあたっては、「論文の水準・優劣」などの曖昧な基準に依拠してはならない。
6. いかなる論文等にも新しい事実、情報等が含まれていて、他の読者には価値の高い情報となる場合がある。
 - 著者意見の尊重：査読者からの意見は整理するが、著者の取捨選択に任せるとし、些細なことに過度の修正を要求しない。修正意見に同意しない場合でも、合理的な説明があれば不採用の理由にはしない。
 - 一事不再議の原則：改訂原稿が投稿された場合、コメントに対し、適切に回答されており、且つ重大な見落としがなければ、意見が違っても採用とする。

附則

この心得は、平成27年5月20日から施行する。